

拓水

創刊号 (7月)



第一卷

第一号

昭和三十一年七月十五日発行 月刊毎月一回十日発行

一部十円

兵庫縣漁業協同組合連合会



写真 鯨 方 志 郎

朝

七月ノ朝ハ

清潔ナたおるの匂イガスル

ソコニハ雨ノ記憶ガナイ

スデニ帆ハ揚ゲラレ

張リキツタ綱ニ

僕タチノ今日ハ招カレル

波ノ白イ微笑ガ

僕タチノ腕ヲ伸ハス

粗イ砂ノ響キガ

僕タチノココロヲ縁ドル

青イ空気ノ七月ノ朝

ソコニモハヤ雨ノ記憶ハナイ

かつて本県水産課より水産関係の広報誌として発行された『拓水』、この由緒ある誌名を本会が継承致して今回本会の機関誌として、再び皆様に御目みえすることになりました。

水産に関する技術・知識の向上を図るための教育並に組合員に対する情報の提供をすることは、水産業協同組合法に定められる漁業団体の大切な事業の一つであることは、私から今さら申し上げるまでもありません。

私はかねてから本県でも漁業系統団体の機関誌を発行したいと考えておりましたが、各種の事情で延びくとなり、今日に至った次第です。

本誌『拓水』の記事は、本県水産課・県水産試験場等官庁よりの資料、全漁連（全国水産業協同組合連合会）全水共（全国水産業協同組合共済会）農中（農林中央金庫）

内海・但馬の各漁連、兵庫県信用漁連、兵庫県漁業信用基金協会、県下の各単協等の系統水産団体、その他漁村青年の四Hクラブ、漁協婦人部、漁協職員協議会等、漁業者に直接のつながりを持つ者が県下漁村文化の向上を図るための

友愛をつなぐ雑誌へ

— 発刊のことば —

兵庫県漁連 三浦清太郎
会長理事

情報を取りまとめたものであり、私達は本誌を介してお互に日頃の仕事にはげみ、全漁民に通ずる友愛の心をたかめる糧にしたいと思います。

以上の意味から前記関係団体、当県漁業者、青年婦人層の各位より日常の体験、抱負など、さまざまな御意見の投稿を得て、明るい漁村の村作り、よりよい暮らし

へと一歩一歩前進したいと念願しております。

今後本誌の充実に、格段の御協力を切にお願い致します。



目次

- 友愛をつなぐ雑誌へ (発刊のことば) …… (1)
- 迫害を越えて (岩見漁協) …… (2)
- ニュース …… (4)
- 技術の手引 (杉本幹夫) …… (6)
- 全国にひろがる 新しい村づくり (五ヶ年計画本年度補助二四億) …… (8)

迫害を越えて

岩見漁協の信用事業 発展の経過

岩見漁業協同組合は、その規模において、県下漁協のほぼ中位にあるが、経済事業としては、信用事業の他に販売、購買、利用、煮干加工等、組合事業の殆んど全般にわたつて行い、その活動はきわめて順調につづけられている。最近、組合の育成強化が叫ばれ、とくに事業の拡大と合理的な経営が望まれている折から、以下この組合の辿つてきたあとを眺めてみよう。

青木氏を迎えて

抗争対立に終止符

海の香りにつつまれる揖保郡御津町岩見の漁協は、この部落の中心である。その経済的な働きは、組合員の生活と切り離せないほど固く結びついているが、こういった信頼を寄せられるまでには、幾度となく運営上の危機が、この組合にも訪れてきている。その第一

回として、昭和六年の組合長、会計担当者による使い込み事件があり、第二回には、共同販売所体制の推進について地元魚市場との問題がある。これらはいずれも三カ年の才月を費消してようやく解決を見たものであつた。その第三回は、隣地区黒崎漁業協同組合との合併問題、第四回として、組合網干場に造船所設置の問題があつたが、そのたびに、賛否両論はことごとく対立し、しかも派閥化して、組合幹部の更迭はつきつぎに行われた。もちろん組合の財政は極度に疲へいしていたのである。

昭和十六年一月、京都で教本をとつていられた岩見出身の青木敬磨氏が組合長として迎えられ、困難な組合再建の指揮をすることになった。

青木氏は再建の第一歩として職員の充実をはかると共に、行政庁の指導を受け、まず漁業の再編成を断行し、戦争が激しくなるに

伴ういる／＼な事態に即応するよう、漁業の協同管理、水揚の共同割を固く守り、負債の整理や新しい漁業の許可、漁港の改修、遠海漁業の奨励にも努力したが、とくに遠海出漁では、満洲の遼東半島近海にまで進出するよう指導した。

こうした組合の運営方法は、きわめて社会主義的であるとの非難がおこり、ついには特高警察の取調べを受けるなど、青木氏が受けた公私両面の迫害はいちぢるしいものがあつた。しかし青木氏の信念は少しも変わらなず、経営の安定を目指してたゆまない努力をかさねて、組合の前途には明るい希望がひらけてきたのである。昭和十八年、青木氏が世を去られた後も、役員は一体となり、先覚者の信念をうけついで事業の発展につとめ、時代の推移によつて多少運営方法は変つたが、現在まで順調に発展の一途を辿つているわけである。

予算生活を指導

「明日の風」は吹かない

共販事業をはじめたのが昭和十六年八月であつた。昭和十八年一月からは組合員の水揚高の1%相当額を強制的に「止金」として仕切金支払のとき直接受入れることとし、逐次この方法で止金の率を

増やし、次に貯金の種類を増やし、目的貯金として仕切金を細分化したわけである。

なおまた仕切金の支払いを五日目ごとに、十日目ごとにと引延し、現在では十五日目ごとにして、月二回の支払いとしている。

しかし他面、漁業の規模が小さいため、一部の組合員から苦情があつて、さきのこととは何とかなる。

「あしたは、あしたの風が吹く」というような考えが去らず、何かと困難な点があつたが、漁業者の必要な資材はもちろん、礦油も組合で取扱い、手許に金がなくても出漁できるようし、各人の過年度の漁獲実績にもとづく漁獲目標を立て、家庭の予算生活の普及に努めたのである。

預金高六百五十万円

「余つたら貯金はダメ」

つぎに貯金のようすをしらべてみよう。

年 度	預 金 高	一組合員当り預金高
昭和十七年	三、七九二、三〇円	五三、四九円
昭和十八年	四、五三三、三三円	六三、〇〇円
昭和十九年	五、〇四三、一三円	七〇、一七円
昭和二十年	五、三二一、四九円	七〇、四四円
昭和二十一年	六、五二〇、三六四円	七九、四九円

このように年を追って増加の方向へむかっているが、貯金の種類は、

定期預金、自由積立式定期貯金
据置貯金、端数貯金、
水揚一部貯金、普通貯金、
出資引当貯金（購買、歩戻し）
利率 信用金庫、農協なみ。銀行の一厘増

附利単位 最低附利単位 千円

附利単位 百円

利息表を作り、これによつて利息の記帳をする。

なお貸付事業については、資金の需要が年々増加しつつあるので、融資についてはあくまで自己資金の造成状況、共販取扱の実績購買品の入金等、従来の取引実績を信用査定的主要因素として取上げている。

また取扱いは、漁業資金と一般資金に区別している。

貯蓄で大切なことは、目的を立てることである。これだけばかりの無理をしても何とかやりたという意志が必要である。〃余つたら貯金しよう〃といったやり方ではなかなかできるものではない。

岩見漁協の九信条

以上岩見漁協の運営上の経過と、そのあらましについて記したが、最後にこの組合が、組合員か

ら信用されるように、次の点を行つていくことをつけ加えたい。
1、月一回の定例役員会、隔月に実行委員会を開き、組合の活動状況を説明する。
2 職員の品位の向上をはかる。
3 窓口サービスを親切、正確、迅速にする。
4 事務所はいつもきれいにする。

5 貯金の秘密性を堅く守る。

6 積極的に定期貯金の勧誘にとめる。

7 貯金箱を配る

8 利息をはつきり記入する。

9 広報 宣伝に努力する。

こうしたことは一時的でなく、長期にわたつて、たゆみなく続けらねばならないが、岩見の漁協において粘り強く行われていることは、現在の順調な発展ぶりから考え当然なことかもしれない。最後に岩見漁協のさらに新たな発展を祈りたいものである。

これは本年五月十四日、兵庫県立水産会館で開かれた兵庫県漁協職員事務協議会で、岩見漁協の岡村重一氏が発表された「岩見漁業協同組合の信用事業確立までの経過及び運営方法の概略について」の原稿を要約したものである。岡村氏からわざわざ原稿を淨書して頂きましたが、「読む文章」に改めましたことをお詫きしておきます。

編集部

組合の沿革

明治三十五年 岩見浦漁業組合
として発足。
昭和十一年 責任組織に改組。
昭和十三年 隣地区黒崎漁業協同組合を併合。
昭和十九年 岩見漁業会に改組。
昭和二十四年 岩見漁業協同組合に改組現在

組合員 七二名

出資金 七五九、〇〇〇円

役員 理事五名、監事三名
職員 六名 常備人一名

仕切明細書

右の「控除金・科目」には次の科目を記載する。

◇積立金各 漁業別のグループ貯金、漁業別の共助金、旅行資金等に充てる。一カ月二百円程度

◇販賣前渡金 清算日(十五日毎)までに金の必要な漁業者に対して仕切金の範囲内で渡しをする。

◇石油製品掛賣金 未清算礦油(前清算不足分)を含む

◇薪炭掛賣金

◇資材掛賣金 別途漁業種類別グループにより、過去の水揚高と資材費の比率で決定している。

例 漕網漁業 仕切金の一割―二割
壺網漁業 四割

◇利用料 組合共同設備の利用料

◇魚代 共販で取扱ひ鮮魚代金

◇氷代 販売用

◇購買掛賣金利息 計算方法は掛売残高一万五千円以下無利息とし、一万五

千円以上は六カ月以上残高のある者にして日歩二銭六厘の割合で毎月末に徴収する。

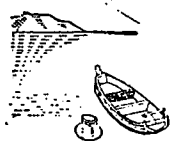
◇貸付金内入償還充当金 貸付金は総て水揚代金より一定の歩合直接受領委任を受けて準備(償還)貯金として取扱う。

◇税金 所得税、町村税、納税組合加入者だけ
◇立替金 火災共済、遭難共済、漁船保険等の掛金

◇貯金振替額欄
◇端数貯金 毎日の仕切金の百円以下の金額。年末まで据置く。盛漁期にはせり売、協定値販売の二通りの販売をするので、相方仕切金の百円以下は貯金とする。

◇据置貯金 盛漁期において閉漁期に備え、控除金渡の残額一万五千円以上ある漁業者に対しては、事前に承諾を求めて仕切金一割程度の据置貯金とする。

◇普通貯金 残額全額
その他に共販手数料を年末に、一分金相当額を歩戻し貯金とする購買事業の方でも礦油代金の内一俵あたり十円の値引をし、月末計算し出資増資引当金貯金とする。





婦人の協力で 明るい漁村

昨年の春、県当局が漁村の生活改善と漁協の発展のために、漁協婦人部の結成を呼びかけて以来、淡路地区でもすでに十六の組合に婦人部が生れた。そして新生の漁協婦人部は、一日十円貯金とか日用品の共同購入とか、いままでも何度も唱えられながら実行できなかつた事柄をつぎつぎとなしとげて、すばらしい効果をあげて来た。今年に入つてから、個々の漁協婦人部の活動からさらさらに進んで他の組合の婦人部とも手をつなごうという新しい傾向が生れて来た。この連合活動をすすめるに当つてとくに功績をあげたのは淡路水交会連合会(会長、塩崎義民氏)であることは注目されてよい。

本年二月十五日、淡路漁協婦人部連絡協議会(洲本市炬ノ口)に神戸市東灘区住吉の永谷晴子女史(灘生活協同組合)——生協として日本第一の婦人部長(を招いて「よい生活ができるような工夫」と題する講話が行れた。永谷女史は巧な話術と豊かな経験によつて約一時間半、衣食住の各面にわたり大きな感銘を与える話をして婦人の仕事がどんなに大切であるかというこの理解を深めた。そしてこの連絡協議会

で「淡路地区漁協婦人部協議会」の結成促進が申合されたのである。イカナゴ漁業の忙しさも一段落した五月二十七日、結成式が同じ炬ノ口で開かれた。島内各漁協婦人部の代表者三十三名に加えて、漁協組合長、経営指導員、県水産課、県漁連、農林出張所、洲本市連合婦人会などから三十余名の来賓を迎えて盛大であつた。役員は選出、新役員のあいさつ、來賓祝辞などののち、県漁連の映写機で「怒濤の男」の観賞した。本年度の事業計画は改めて役員会に委任された。新役員次のとおり。

- 会長、魚井さち子——江井
- 副会長 福山とめの——沼島
- 岡 森よし子——仮屋
- 会計係 浜田竹子——炬口
- 同 山本じゆん——室津浦

漁協職員協

議を生れる

淡路ではかねてより全島三十四の漁協組につとめる職員連絡機関の設立が目録まれていたところ四月二十日洲本市において準備会、五月四日洲本市で結成総会が開かれて淡路地区漁協職員協議会が生れた。結成総会には三浦会長、塩崎淡路水交会連合会長、各漁

協組合長、県水産課長代理松浦組合係長らが来淡として出席、盛大であつた本年度の事業としては、八月に先山千光寺で暑中研修会、十月に優良漁村視察、十一月に経理事務講習会、明年二月に税務研究会の予定を決めた。また総会では三浦会長の講演、郷土芸術人形淨瑠璃の観賞があつて午後三時に散会した。本会の役員は次のとおり

- 会長 近藤捷一——塩田
- 副会長 中井響富——浅野
- 委員 赤井政二郎——岩屋、有馬清
- 春——岩屋共栄、
- 奥井知也——江井、
- 山川実藏——鳥飼、
- 東数一——福良
- 三宅福松——丸山。

〔解説〕淡路には従来、東西南の三浦に分れて漁協職員の親睦会があり、会員の総数は一七〇名を越えていた。本会は組合長の団体(水交会)に対抗しようという労資関係のものではなく、系統組織の強化を目的とし、職員相互の研究に重きをおく。

信用事業の

不振を打破

全国信漁連では、会員である漁業協同組合の信用事業を一そう活発にしよらうと、今年の初めからその対策を練つ

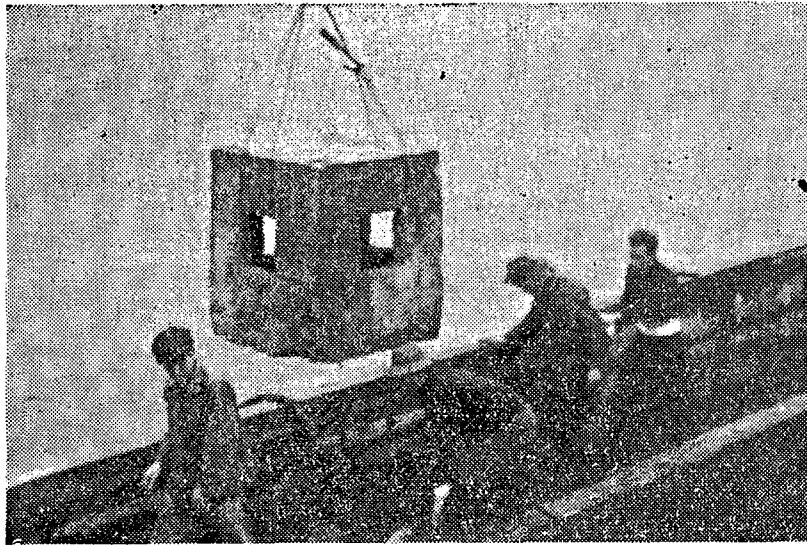
ていたが、最近その見直しを得たので、県信漁連もこの線に沿い、つぎのよきな運営方針をきめ、これが活動に乗り出すことになつた。

- 1 経営のよい組合にはさらに援助をするが、事業不振の組合についてもその原因をくわしく調べ指導にあたる。
- 2 信用事業を行つていない組合にはなるべく早く事業をはじめよう積極的に働きかける。
- 3 購買、販売事業との結びつきをして、信用事業の強化、拡充をはかる。
- 4 漁協婦人部と手をつなぎ、漁村経済の安定に努力する。

なお、県信漁連では、貸出業務その他についても工夫し、系統機関の実力をフルに活動させようとはり切つている。

コンクリート 魚 巢 ひつぱりだこ

県では、昭和三十一年度におけるコンクリート魚巢設置場所を、つぎの十三市町村の海にきめた。コンクリート魚巢は昭和二十九年頃から沿岸漁業振興の一つとしてつづけられていたもので、その成績がよく、今年も設置申込が三十カ所に及んだものである。一箇の大きさは底面一、二米平方、深さ一、四米の箱で重さ約一、五屯、窓は側面



建設 漁 集 築 工 事

に一ヶつと底面に一ヶとあつて、今までより一層魚の習性に合うよう改良されている。なお一ヶ所平均七〇箇、十五ヶ所全部で一〇五六ヶの予定。

- 設置市町村 (数字は箇所数)
- 神戸市① 尼崎市① 明石市①
 - 赤穂市① 浜坂町① 南淡町②
 - 北淡町① 姫路市② 淡路町①
 - 一宮町① 御津町① 洲本市①
 - 阿那賀村①

水質の汚濁を防げ

内海水産振興協議会

五月二十日 県立水産会館で瀬戸内海水産振興協議会の第一回総会が開かれた。当日の出席者は大分、山口、岡山、兵庫、大阪、徳島、高知、愛媛、香川の九府県の県漁連又は借漁連の会長もしくは代理人、協議

事項は
一、水質汚濁防止対策について

二、沿岸漁業の転換策の確立の検討

三、港湾区域における漁業権設定に関する検討

四、漁船の検認期の統一についてであつて、水質汚濁防止については、総会の決議にもとづいて、

五月二十五日会長名をもつて政府当局、国会両院、各政党、関係府県の知事、議長にあてて陳情書を発送した。

〔解説〕 戦前には瀬戸内海水産連合会が毎年開催されて相当の成果を挙げていたが、今回結成を見れば本会は、戦前の規模に

は及ばないけれども、瀬戸内海の漁民に共通のなやみを解決するための連絡協議会である。年一回定例総会、重要問題には臨時総会を開くという純民間の団体で役員は議長一名のみという単純な仕組で経費の節減をはかる。四月廿五日、香川県高松市で結成が申合われ、初代会長には本県の三浦清太郎会長が推されて就任。純民間という自由な立場から今後の活動が期待されている。

(Y)

絶やすな資源

沿岸の水産資源が年々減る一方である現在、これをなんとか喰ひ止めようと、財団法人日本水産資源協会が中心となり、七月一日から、全国的に水産資源の愛護運動を展開している。県や県漁連もこれに歩調を合わせ、あれこれ名案をヒネつている。

丸山船団帰る

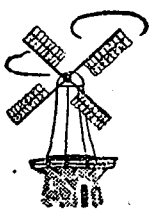
五島・壱岐から

たいの魚群を追つて、去る二月上旬からはるばる五島列島、壱岐の海域へ

台風 に 備 えて

出漁していた阿那賀村丸山の金比羅丸、護神丸、蛭子丸、戎丸(一〇屯級)の四隻は、六月中旬一―五日に及ぶ操業を終えて元気に帰港した。初めての漁場であり、天候にも恵まれなかつた関係から水揚は一隻平均三〇万円くらいで、おもわしいとはいえないが、新しい漁場をさぐることができ、その有望性をたしかめることができたもようである。

台風の季節が近づくにしたがい「漁船を守るためにはまず漁船保険を」という趣旨を普及させるため、八月一日から「漁船保険加入促進及び事故防止月間」がはじまる。県及び漁船保険組合では、この月間中、スライドや映画を準備して県内をまわり、大いに漁船保険の普及に力コブを入れる予定。



技術の手引

これからの焼玉機関
杉本幹夫

最近とくに漁船エンジンのデイゼル化が盛に唱えられ、府県によつては相当数のデイゼル漁船を有しているところもあり、段々使用数が増えている状態です。しかし本県の場合は前にもお話ししたとおり極めて少なく、理由も色々ありましようが、デイゼルのつけないから兵庫県の漁業者は知識程度が低いとは決していえないと思います。勿論値段が高いために購買力がないとか、又修繕に不便だとかは、一応大きな理由になつてはいるでしょう。しかし例えれば焼玉機関を使用している人の立場から、小馬力の小型漁船では、デイゼルよりもむしろ焼玉の方が優つている事実が多く、身をもつて体験している結果だからともいえないでしようか。

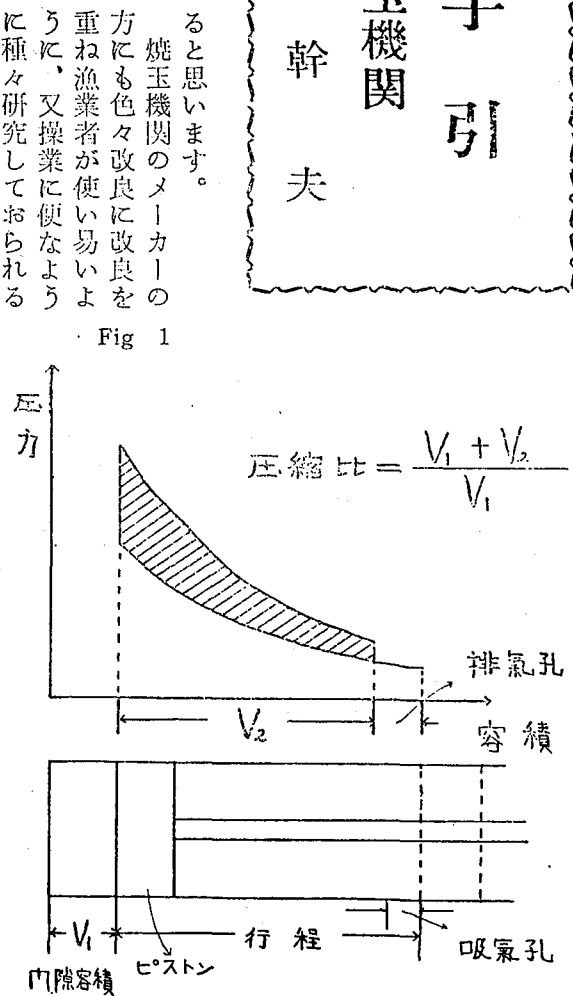
私達が普及指導する場合、又デイゼルメーカーの方もこのところをよく考えて、たゞ燃料消費の多い焼玉機関が何故漁業者に歓迎され、反面デイゼルが普及しにくいかという点に深い観心があると思ひます。

焼玉機関のメーカーの方にも色々改良を重ね漁業者が使い易いように、又操業に便なように種々研究しておられるために、最近の焼玉機関は特に優秀なものができつゝあるようです。本県のようにデイゼル漁船が少なく、電着を除けば焼玉機関一辺倒である事実、又将来相当長い年月の間、そうであるかと予想されることからして、痛切に改良考えねばならないことを感じるのであります。

先にもお話ししたように小馬力では焼玉機関の方がすぐれているといわれている点について、最近某発動機新聞で見ました記事を、今少し詳しくお話ししてみたいと思ひます。と申しますのは、この記事に於ても今からお話する要領で改良を加えていけば、デイゼル機関に勝るとも劣らない焼玉機関ができるだらうし、需要も減ることはないだらうと述べられていま

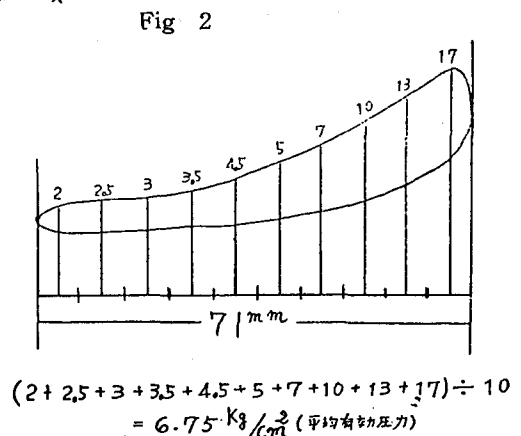
す。現在焼玉機関を使つておられる方、又将来もつと使おうとされる漁業者の方に少しでも参考になれば幸いです。先ず第一に「シリンダー容積当りの連続出力の増加をはかること」があげられています。

シリンダー容積当りの連続出力の増加とは、いいかえれば、シリンダー内の平均有効圧力をあげてやることです。平均有効圧力とは何かと申しますと、我々に機関の馬力を計算する際に必ずその機関の平均有効圧力を、シリンダー内の圧力の変化を示した指圧図(一)から計算別図(二)しますか、簡単にいつてシリンダー内で燃焼体が圧縮され、爆発する力の平均とすることが出来ます。即ちピストンが上部に押し上げられて圧縮され、燃



(1図) の圧力容積線図(斜線部分)から馬力計算するため平均有効圧力を求めなければならない。その方法は

- (イ) プラニメーター(面積測定器)によるもの(略)
- (ロ) (2図)に書かれているように指圧図の長さ71mmとして10等分し、その各区間の中央から横線に直角な線をたて、指圧図中に含まれる長さを指圧器のパネの常数にあわせた物指ではかり、各の長さを合計して10等分すれば平均値が出る。



料油が爆発するときには圧力は最大で、こんどはトツブから下る場合には膨張する訳ですから、段々圧力が低くなり排気が出ていくようになれば、殆んど大気圧と同じぐらいにまで下るわけで、シリンダー内の各部の圧力は夫々違いますから、その違つた圧力の平均をいふのです。従つて馬力計算には、この平均有効圧力を基本にストローク、シリンダーダイヤ、回転数等乗じて馬力を算出するので、平均有効圧力が大きい程出力が大きくなる理くつです。これは出力の上に最も大事なことです。現在焼玉機関に於てこの平均有効圧力は約 $2.5 \sim 3 \text{ kg/cm}^2$ 位ですが、これを $2.5 \sim 3 \text{ kg/cm}^3$ まであげるようにしてやること、それには先ずシリンダー内の掃除効率をよくするため、現在のピストンガイドによるものでなく、吸気孔自体に傾斜をもたせ、圧縮比を高めると共に、クランクケースの圧力をあげてやるということ。ガイドをなくしてディーゼルのようなピストンの形にすれば、クリヤランスが小さくなつて、圧縮比も高くなるのは当然ですが、焼玉機関は二サイクルですから、これに伴う掃除空気の流通を考へてやらねばならないということ。漁船によつては、よくシリンダーダイヤで規格の十馬力のエンジンに、十馬力以上に使用されるクランクケースをつけているのを見ますが、こ

の理くつからいけば、掃除空気圧力が低くて燃焼はよくないと思われまふ。県下でも色々さういつた点を研究されているところもあり又メーカーでも其処に重点をおいて改良に努力されておりますが何といつても小型二サイクルエンジンでは、掃除空気の「圧力」一方向が最も大きく出力に影響するといえます。

次に
「燃料ハンドル、エヤダムパー、ノズルハンドルの単一作動ということ。」

焼玉機関の運転動作を見てみると、ディーゼルですと運転中は燃料ハンドル一つで極く簡単ですが、焼玉の場合、燃料ハンドルの外、運転状態によつて、エヤダムパー、ノズルを触らねばなりません。例えば全速から低速に変わる場合には、ハンドルをさげてノズルをしめ、ダムパーも半開きにするとかしなければならぬし、中に熟練を要することです。これをディーゼルのようにハンドル一つでやれると、どんなに手数が省けて楽になることでしょうか。要するに出力調節のためにこの三つを機械的に連結して、スロー運転フル運転、ストップ回転等がハンドル一つでできるような構造をかえることです。まあこれは手数の問題ですが、決して馬鹿にはできないことです。次に

「外観をもつとスマートにして使

用目的に夫々適応するような機関をつくること」があげられていました。

これも前の問題と同じく、ディーゼルにくらべると外観がとも複雑であり、全くスマート性がなないので、もつと焼玉機関とはいえないディーゼルに劣らないし、むしろやいなものができていゝのではないのでしょうか。

これは先月水産試験場で開催されました機関展示会を見られた人はお分りと思いますが、最近段々スマートになりつゝあること事実です。使用している人の心理からいつてもやはりこざいなものには、そのように感覚が伴つて取扱も丁寧になるといふ論法でしょう。それと漁業種類によつては相当高速なもの又低速なものが要求されるので、夫々各漁業種類に適応した機関をつくるのが必要ではないかということ。勿論規定にあつたものをつくるのは、いゝことですが、やはり漁船本来の操業状態に応じたものを作ることは大切です。次に

「出力呼称の変更」

この問題については、余り深入りした点について触れることは、さけたいと思ひますし、又本問題の趣旨にもそわないうように思ひますが、つまりディーゼル機関でいう呼称馬力と同じように焼玉機関の呼称馬力を設定する必要があるといえます。現在の農林馬力

の算出については、種々論議されているようですが、皆さんもよく知つていられるそれらについて改良される可き点もあるのではないかと思ひます。現在の焼玉機関に於て先程申しました点について改良され、ば、呼称馬力以上の相当な馬力が出るのは事実ですから、これは一応調整して他機関との釣合をとる必要もある訳です。

その外にもたくさんあると思ひますが、これらが実際メーカーで改良され、又漁業者が研究してこれに同調していくことは、現在の水産行政から見ても異論もあるでしょうが、それはそれとして、馬力当りの値も安い焼玉機関の使用は、まだ盛んでありましようし捨てがたい味のあるもの云々ましよう。それ以外にこの記事には、機関の直径と行程比を現在より大きくすることが圧縮圧力の増加に伴う燃料噴射圧力に対する影響及びそのためのプランジャーの速度、ストローク等色々な面白い問題が記載されていきました。我々はどうも機関をつかつてもたゆまざる研究をつゞけることは、取扱者の常識であり、ひいては漁獲にも影響するものであることは忘れてはなりません。ディーゼル化等の問題についても、真剣に研究して自分も最も使い易い機関を使用し、更に、それを使いこなすように努力していきましよう。

※筆者は水産試験場勤務、ラジオ神戸の朝の放送「農漁民の時間」でおなじみの漁船機関の指導技師です。機関に関する質問、相談を待つてゐるとのことです。

全国にひろがる

新しい村づくり

五ヶ年計画本年度補助二四億

望まれる青年層奮起

農林水産行政の画期的な施策として、ことしから新しい村づくりの事業が、全国的にくりひろげられることになった。五ヶ年計画をもつてすることの「新農山漁村建設総合対策」には、本年度二十四億円の国庫補助が投ぜられ、うち十三億の特別補助は、全国九百の農林漁業地域のうち、五百地域に配分される予定である。兵庫県でも本年度二十三の指定地域のなかで十三が特別補助をうけるが、新しい村づくりとはどういった狙いをもっているものだろうか、以下この新事業の構想をながめてみよう。

期待される地元民の熱意

農林漁業は、我が国経済の根本をささえている大切な産業である。この進歩を発展は国力の増大にきわめて深いつながりをもつて

いるものだ。しかしながら現在、

農林漁業者の生産所得は他の国に比べてはもちろん、国内の他産業に比べても少い状態にある。したがって農林水産業に従事する人たちの生活は、一般に貧しくきびしい。このためこれからの村を背負って立つべき若人たちが、自分の郷土である農山漁村にあるいは自分々の生業である農林漁業に対し、次第に希望と意欲を失いつつあるといった憂うべき現状がしばしばみられる。

こうしたことをなんとか打破し、明るい夢と希望を招きよせ、生活をゆたかにすることが急務であつて、新しい村づくりの目的はここにあるといえるだろう。そうした経営の安定と生活の向上を目指しているこの「新農山漁村建設総合対策」には、二つの大きな狙いがある。その一つは協同の力による生産の増大と、経営その他生活の合理化

である。これを平たくい換えれば、力を合せて「収入の道をはかり、支出を考ふる」ことだ。

とくに農林漁業に、規模がおおむね零細なので、個々の力だけでは発展の可能性が少いが、まとまつた経済地域において力を合せ、その活動をねばり強く進めていくならば、きわめて大きな成

果が期待される

こういふ考え方から、新しい村づくりは部落単位を総合するところの、かなり広い視野に立つて、くわしい計画が練られ、しかもあくまで協同の力にその基礎を置いているものである。

その二は、地元民の自由な創意と熱意を中心にし、とくに青年婦人層の強い意志と推進力に望みを托し、仕事の天下りを極力さけて

いままでの振興方策は、とかくお役所からの天下り方式をとるものが多く、農山漁民自身の主体性や創意がこれを支持していかないむきが往々みられたが、こんど実施される村づくりは、一般地元民はもちろん、とくに中堅青年婦人層の新鮮な考え方と、さかんな推進力に期待するところが多く、村づくりの計画をつくるにあたつてもこうした事実を基本方針にしていくわけである。

この二つの狙いを調和させ、事業の効果をもたらすためには、何よりもまず事業の計画が、めん密な計算によつて作られねばならぬということだ。そのためには一応自分の地域の経済的な成り立ちとか、交通その他を充分に考えたり調べたりして、問題となるべき点を引き出してこねばならない。それによつて進むべき方向がたしかめられ慎重に立案することができらるだろう。

中心は「振興協議会」

事業を進める五つの機構。つぎにこの事業を進めていく上の機構にふれてみよう

1 農漁村振興協議会

知事から適当と認められて指定地域のなかの関係市町村、農協、農協、森林組合、漁協、土地改良区、農事組合、青年婦人組織、農事研究会、四日クラブなどの代表者や学識経験者など約三十名でこの協議会をつくり、事業の実施にあたることになる。

この協議会がすべての中心となつて、地区内の振興計画はもとよ

2 農山漁村振興対策地方推進委員会

総力を集め動かすことになるのであるから、充分連絡をとり、慎重にあたることはいうまでもないことだ。

前記の協議会を側面から援助する機関で、県農林出張所、土地改良出張所その他県の関係出先機関で結成される。

以上二つは地方の機関だが、県としての機関にはつぎの三つがある。

3 県農山漁村振興対策推進委員会

県の関係部課長で構成され、農林行政の一元化と、この事業の総合調整をはかることを主な目的とする。

4 農山漁村振興顧問團

振興計画の樹立、実施について専門的な立場から協力するもので、学識経験のある専門家たちで結成される。

5 県農山漁村振興対策協議會

これは知事の諮問機関で、一事業を進めるうえの重要事項を調査審議する。

特別補助は平均四百万円

農林公庫からも資金貸付け

最後にこの事業の焦点である国の助成措置についてのべてみよう。新しい村づくりの事業は、知事から承認された振興計画に基づいて各指定地域がそれぞれ実施してゆくが、政府はこれに対する資金的な援助として、特別助成、一般助成、融資の三つの方法をとることになつてゐる。

特別助成………

これは新しい村づくりのために、とくにとりあげられた助成措置で、五カ年間に全国の農山漁業地域に行きわたらせようとするものである。

対象となる具体的な事業を大きく分けると、農用地交換整備、適地適産奨励施設、共同施設、技術研修と生活改善施設にわけられる。助成は国の補助金、農山漁業金融公庫からの資金貸付があり、毎年度一定数の指定地域を選び同一地域には二カ年づつづけて助成する。この場合の補助金の額は、特別補助の対象となる一地域の事業費を、ほぼ一千万円として、この四割以内ということになつてゐる。

一般助成………

特別助成のほかに政府から援助されるもので、特別助成の対象事業以外の団体営土地改良事業、耕地整備事業など従来からの各種補助事業に対して補助金が交付される。この場合、特別助成とにらみ合せて、有機的、総合的な観点から具体的な額や対象事業がきめられることになつてゐる。

以上新しい村づくりの構想について、そのあらましをのべたが、要するにこの新事業は、それぞれの立地条件に応じて、最も適切な振興計画をつくり、村全体が力

を合せて、明日の希望ある豊かな農山漁村を積極的に築きあげようとする事なのだ。

このために巨額な費用をかけ、さらに五カ年の才月を積みかさねて行こうとする新しい事業の決意が、将来において輝く成果を招来することを祈りたいものである。

(県水産課)



漁業メモ

○ 機械の潤滑油は勝手に混ぜないようにならねよう。質が異なる潤滑油を混ぜあわせると、オリができ機械をイタめることがある。

○ 潤滑油の良し悪しを調べるには、吸取紙又はコシ紙の上に油を一滴おとしてみます。混ぜものやオリのある潤滑油は油のしみ方が一様ではありませんからすぐわかります。

○ 冷却水の温度は、入口の温度と、出口の温度の違いが攝氏二〇度から二五度ぐらいが丁度です。そこから時々気をつけてみませう。

○ エンヂンを動かす前と停止したあとには、かならず二、三十回くらい手廻しをして下さい。エンジンの寿命をのばすのにた

火 災 共 済

水産用経

○ いへん効めがあります。魚を活すときにはウロコにきずをつけないことが大切です。ウロコは魚の皮膚を守り血液の濃さを一定に保つ作用があります。

○ 硫酸銅の液につけた網は絶対に日干をしないこと。薬の害で網のセナイが非常に弱くなつてしまします。

○ 兵庫県の水産試験場では、夏の間のイカナゴの生態をしらべると、夏にとれたイカナゴは一尾でも二尾でもお送つて頂きたいと希望してゐます。

○ ワカメの害敵アメフラシ一名ウミウシの産卵期です。この卵寒天質でウドンの玉のように海底の岩に産みつけています。見つけ次第とり除きませう。

○ 貝の害敵ヒトデを退治しませう。ヒトデはチギつたり折つたりしたうけでは仲々死にませせん。岸へあげて天日で乾すのが一番でがるで効果があります。

貯金は漁協へ

兵庫縣信用漁業協同組合

会長 島田文治郎

本部 兵庫縣立水産会館内 直通電話⑥0193

但馬支所 香住町字中浜頭 香住125

婦人部購買品のお取次も

兵庫縣内海漁業協同組合連合会

会長 三浦清太郎

本部 兵庫縣立水産会館内 直通電話⑤3424-5

明石油槽所 明石市船町 明石3207

富島油槽所 北淡町富島 富島 66

飯屋出張所 淡路町飯屋 飯屋 59

購買品は系統利用で

但馬漁業協同組合連合会

会長 守山源太郎

城崎郡香住町香住 電話香住154

神戸市兵庫区
新在家町

兵庫縣立水産会館

電 ⑥8301 (事務)

話 ⑤9563 (宿泊)